

Photo News

JA東京中央会と共催で東京の農業を楽しく知る

「親子クッキング企画 東京の秋の恵みでピザづくり」



11月23日(木)、「あぐりフレンズ・東京」は、親子クッキングとして、コープみらいコーププラザ新中野調理室とオンラインで開催し、会場には親子8組(大人8人、子供15人)が参加しました。三鷹市の採れたて野菜を使用したピザづくりでは、子どもたちを主体に声をかけ合いながら生地づくりや盛り付けを楽しんでいました。また、調理の途中の野菜クイズでは東京の農業や野菜や果物のルーツについて学び合いました。参加者からは「すぐ家でレシピを参考に作ってみたい!」「23区では少



ないが東京都ではこんな美味しい野菜があることに興味をもてた」と好評でした。



地域・医療・大学・共済生協のみなさんと一緒に

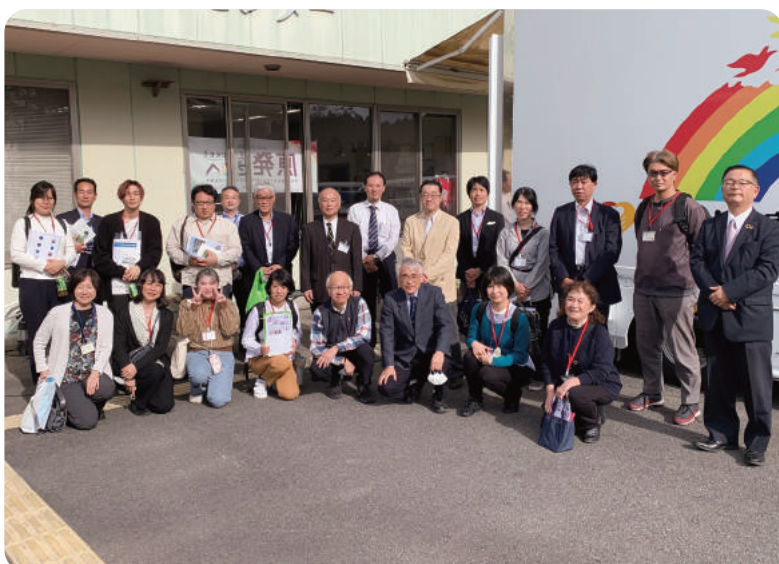
「ふくしまの今を知る ～ふくしまと東京の生協をつなげる旅～」



11月6日(月)～7日(火)、4年ぶりに東日本大震災被災地交流企画として福島県訪問交流を実施、7会員生協と東京都生協連の役職員18人が参加しました。福島県生協連に全面的に協力をいただき、福島県浜通りを南から北へ縦断し、1日目は「福島で起きたことを知る」、2日目は「福島のこれからを考える」という組み立てで、数々の震災遺構や施設、富岡町の視察をはじめ、浜通り医療生協、相馬双葉漁業協同組合を訪問し震災時の対応や漁業の現状についてお話を聞きました。福島県の今を知り東京の生協として



何ができるのかを考える訪問交流を次年度以降も継続して実施する予定です。



会員生協の皆さんから
情報をお寄せいただきました

会員生協の取り組み

コープみらい

大人から子どもまで笑顔があふれます

「コープみらいフェスタ 池袋サンシャインシティ」



11月26日(日)、池袋サンシャインシティで4年ぶりに開催し、約6000人にご来場いただきました。

メーカーや産地など47団体に出展いただき、コープみらいの食育「たべる、たいせつ」の取り組みを広くお知らせしました。

『みんなの笑顔ゾーン』では地域で活動するブロック委員会のさまざまな取り組みを紹介し、多くの方に楽しんでいただきました。また、コープデリのお仕事体験ブースでは、子どもたちがお店の制服を着てレジ操作など体験しました。

メーカー・産地などの『未来へつなごうゾーン』では、試食・販売や食育体験・交流が行われました。

(コープみらいより)



パルシステム東京

東日本大震災を忘れない

「みやぎ復興スタディツアー 2023」



11月4日(土)～5日(日)、「みやぎ復興スタディツアー2023」を実施しました。親子での参加を呼びかけ約30組から応募があり、組合員4組9人と役員あわせて32人が参加しました。

パルシステム東京では、東日本大震災発生後、組合員とともに様々な支援活動に取り組んできました。4年ぶりの被災地訪問となった今回は、石巻・大川小学校視察、南三陸さんさん商店街散策、気仙沼復興祈念公園、伝承館見学、前浜マリセンターでの地元の方との交流などを通して、現地の状況や暮らしている方々の声を聴き、これからも被災地に寄り添いながら、引き続き組合員に伝えていくことの大切さを感じることができました。

(パルシステム東京より)

東京ふれあい医療生協

ふれあいの「わ」ひろがる 「2023年健康まつり」

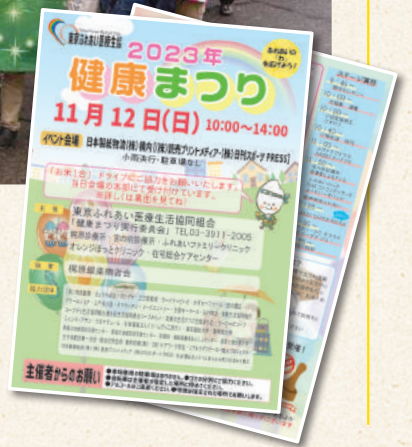


11月12日(日)、地元の梶原銀座商店街にも協賛いただき、多数の協力団体から出展・協力をいただき開催できました。また、地域生協からは、コープみらい、東都生協、北東京生活クラブ生協の3生協から生協商品の販売などの出展・協力をいただきました。

当日はあいにくのお天気でしたが、来場者数2000人と大盛況でした。

お越しいただいた皆様！ご協力いただいた皆様！本当にありがとうございました。

今後も地域の皆様と一緒に、ふれあいのわを広げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。(東京ふれあい医療生協より)



和光学園生活協同組合

大学生協で新入生を迎える準備が始まっています 「2024年度入学準備説明会」



各大学生協では推薦合格者向けに新入学生・保護者への説明会が取り組まれています。

和光学園生活協同組合では、12月3日(日)に「2024年度入学準備説明会」が開催され、当日は学生委員・新学期アドバイザー約20人が企画・運営し、午前12組、午後6組の保護者が参加されました。

大学生活や入学前に準備すること、生協や学生総合共済加入の案内などを先輩学生の立場から丁寧に説明されていました。

大学に生協があることの大切さが分かる企画となりました。

一般社団法人東友会

東都生協へ感謝状が贈呈されました 「結成65周年記念式典・祝賀会」



感謝状と記念品を贈呈される東都生協風間理事長

11月19日(日)、「東友会結成65周年記念式典・祝賀会」が開催されました。

会の冒頭に参加者で黙祷をささげた後、家島昌志代表理事による開式のことばに続いて東友会の65年を映像で振り返りました。今回、会を支え協働されてきた団体として、1988年から手編みのモチーフのひざ掛け1万点以上を被爆者に贈呈を続けている東都生協に感謝状と記念品が贈呈されました。

祝賀会では、団体や個人からのお話を聞き、交流を深め、核兵器廃絶と恒久平和を祈る盛大な会となりました。

区市町村消費者行政調査活動 23自治体で消費者行政担当者と懇談



東京の区市町村消費者行政調査活動での消費者行政担当者との懇談を、10月～11月にかけて23自治体でおこないました。今年度は、訪問しての懇談は21自治体、オンラインでの懇談は2自治体で実施しました。行政担当者、生協・地域の消費者団体の皆さんが対面でなごやかに懇談し、今後の連携の可能性について意見交換をおこないました。

若い皆さんの声を聞いて、 生協のこれからを考えました 「どうする若者、どうする私たち ～若者との対話から、未来を考える～」



11月11日(土)、4都県生協連(千葉、埼玉、神奈川、東京)共催企画として開催しました。パネリストに、NO YOUTH NO JAPAN代表の能條桃子さん、カクワカ広島共同代表の高橋悠太さん、NPO法人ORIGAMI理事長の都築則彦さん、ファシリテーターに日本生協連常務理事の二村睦子さんをお招きし、社会活動や意見の発信などに積極的に取り組む若者たちの価値観や視点、若い世代の皆さんが目指すこれからの社会について、率直な思いを聞くことができました。

これからの協同組合をともに考える 「東京の生協・協同組合学びの講座」



11月17日(金)～18日(土)、第7・8講を開催し、都内生協・協同組合団体から11組織21人が参加しました。「これからの協同組合を考える」をテーマに、日本協同組合連携機構(JCA)主任研究員の阿高あやさんと、日本生活協同組合連合会管理本部人材開発部の齋藤優子さんをお招きし、講演とグループディスカッションを行いました。今回の講座をもって、1年1か月に亘る第1期を終了し、次年度以降につなげていきます。

私たちの暮らす街を歩いて実感！ 「西東京で防災まちあるき」



11月25日(土)、コープ災害ボランティアネットワークのスキルアップ講座第2講として、西東京レスキューバード・西東京市社会福祉協議会に協力していただき実施しました。災害時に拠点となる田無小学校の防災施設や田無の地形と災害の関係を見学。また、江戸時代前期に玉川上水から分水してできた田無用水の歴史を学びながら歩きました。参加者が気付きを話し合いながら歩き、防災と歴史の両方の視点から町を深く知る講座となりました。

